

まつやま けいこ
松山 恵子 (1937~2006)



歌手。宇和島市出身。本名は岡崎恒好^{おかざきつねこ}。中学2年生で出場した日本コロムビア全国歌謡コンクールで10位入賞を果たし、関係者の注目を集めた。昭和29(1954)年、日本マーキュリーレコード全国歌謡コンクールで優勝。翌年、「マドロス娘」でデビュー。昭和31(1956)年、「十九の浮草」が大ヒットし、一躍スターとなった。その他、「未練の波止場」「だから云ったじゃないの」「お別れ公衆電話」など数多くのヒット曲があり、NHK紅白歌合戦に昭和32(1957)年から7回連続出場した。

昭和44(1969)年、交通事故に遭い、瀕死の重傷を負う。この時の輸血が原因で肝炎を患い、亡くなるまで闘病を密かに続けていた。一時は生命も危ぶまれたが不屈の闘志で復活。最後まで国民的歌手としての人気を維持した。平成元(1989)年には、通算8回目となる紅白歌合戦に出場。平成7(1995)年、第37回

日本レコード大賞功労賞を受賞した。

平成18(2006)年2月、平成8(1996)年頃から肝臓がんで闘病中であることを告白し、その直後の3月下旬に入院。5月7日に亡くなった。享年69歳。6月に新曲「人生ありがとう」を発表する予定だった。JR宇和島駅構内に、ヒット曲「お別れ公衆電話」を記念した電話ボックスが設置されている。

略歴

昭和12(1937)年4月10日	宇和島市に生まれる。
昭和27(1952)年	日本コロムビア全国歌謡コンクールで10位入賞
昭和29(1954)年	日本マーキュリーレコード全国歌謡コンクールで優勝
昭和30(1955)年	「マドロス娘」でデビュー
昭和31(1956)年	「十九の浮草」が大ヒット
昭和32(1957)年	NHK紅白歌合戦に初出場。以降、同38(1963)年まで7回連続出場
昭和44(1969)年	交通事故に遭い、瀕死の重傷を負う。
平成元(1989)年	第40回NHK紅白歌合戦に出場
平成7(1995)年	第37回日本レコード大賞功労賞を受賞
平成18(2006)年2月	平成8(1996)年頃から肝臓癌で闘病中であることを告白
3月	入院
5月7日	69歳で永眠

(写真提供：Licensed by USM JAPAN, A UNIVERSAL MUSIC COMPANY)

〈関連図書〉

- ・愛媛新聞社情報センター編『愛媛県人名大事典』愛媛新聞社 1987年
 - ・松山恵子「お恵ちゃん！誕生秘話(私のつれづれ松山論)」松山百点第176号 松山百店会 1994年
- 〈ゆかりのある場所〉…(P318, 220)